

クロマツ採種園及びスギ採種園の管理等について、講習・指導を実施

令和2年12月17日

東北育種場では、東北各県からの要望に応じて、クローン増殖の方法や採種穂園の管理等についての講習・指導を実施しています。

令和2年10月に新潟県からの要望を受けて、クロマツ採種園の樹形誘導・施肥及び、スギ採種園の管理等についての講習・指導を実施しましたので概要を紹介します。

1 クロマツ採種園の樹形誘導・施肥

新潟県では、治山事業における海岸林造成を中心に活用していくことを目的に、平成27年度から抵抗性クロマツ採種園を造成し、種子供給に向けて取り組んでいます。この採種園の管理について講習指導の要望を受けましたので、新潟県の職員等を対象に、採種木の樹形誘導や施肥等について実技を交えた指導と意見交換を行いました。

最初に新潟県森林研究所の会議室にて資料を用いて樹形誘導方法について説明し、その後新潟県が管理する朝日林木育種園に移動し、園内に造成されている採種園にて採種木の樹高や樹形を見ながら、断幹時期や断幹する位置、各枝の剪定部位や剪定後の管理等について指導を実施しました。参加した講習生からは、新潟県という冬期積雪の多い地域の実情を踏まえた各種作業の時期や、マツの枝から萌芽枝を出させるための注意点等について熱心に確認や質問がありました。その後、樹形誘導を行った後には必ず施肥を行い、樹勢の回復に努めることを説明しました。



クロマツ採種木の樹形誘導手法の実技指導

2 スギ採種木からの穂木選別・管理

新潟県では花粉症対策に資するため、平成22年度から無花粉スギの採種園を造成し、穂木の売払いを実施しています。この採種園における穂木の選別と管理について講習指導の要望を受けましたので、新潟県の職員等を対象に、採種木からの穂木の選別や採種木の維持管理等について、実技を交えた指導と意見交換を行いました。

新潟県が管理する和島林木育種園にて、最初に資料を用いて説明し、その後園内に造成されている採種園に移動し、採種木から萌芽している穂木について、さし穂に使える穂木の見分け方や、穂木採取後の剪定に際しての注意点等について、実技を交えた指導を実施しました。参加した講習生からは、穂木を選別する時に特に気をつける点や穂木の長さ、採取後の剪定において翌年以降も多くの穂木を萌芽させるための主枝の剪定位置等について熱心に確認や質問がありました。その後、樹形誘導を行った後には必ず施肥を行い、樹勢の回復に努めることを説明しました。



スギ採種木からの穂木選別に関する実技指導

今後も引き続き、育種事業に携わる皆様の要望に適切に対応できるよう各種の講習・指導に取り組んでまいりますので、是非ご活用下さい。

(東北育種場)